

とびだせ

みえるよ みえるよ 日本の歴史 わかるよ わかるよ 戸田市のうつりかわり

歴史たんけん隊



郷土博物館へようこそ。

さあ、これから楽しい歴史の旅が始まるよ！



戸田市立	名前
小学校	

館内を見学する前にチェックしておこう!!!

なるほど★歴史年表

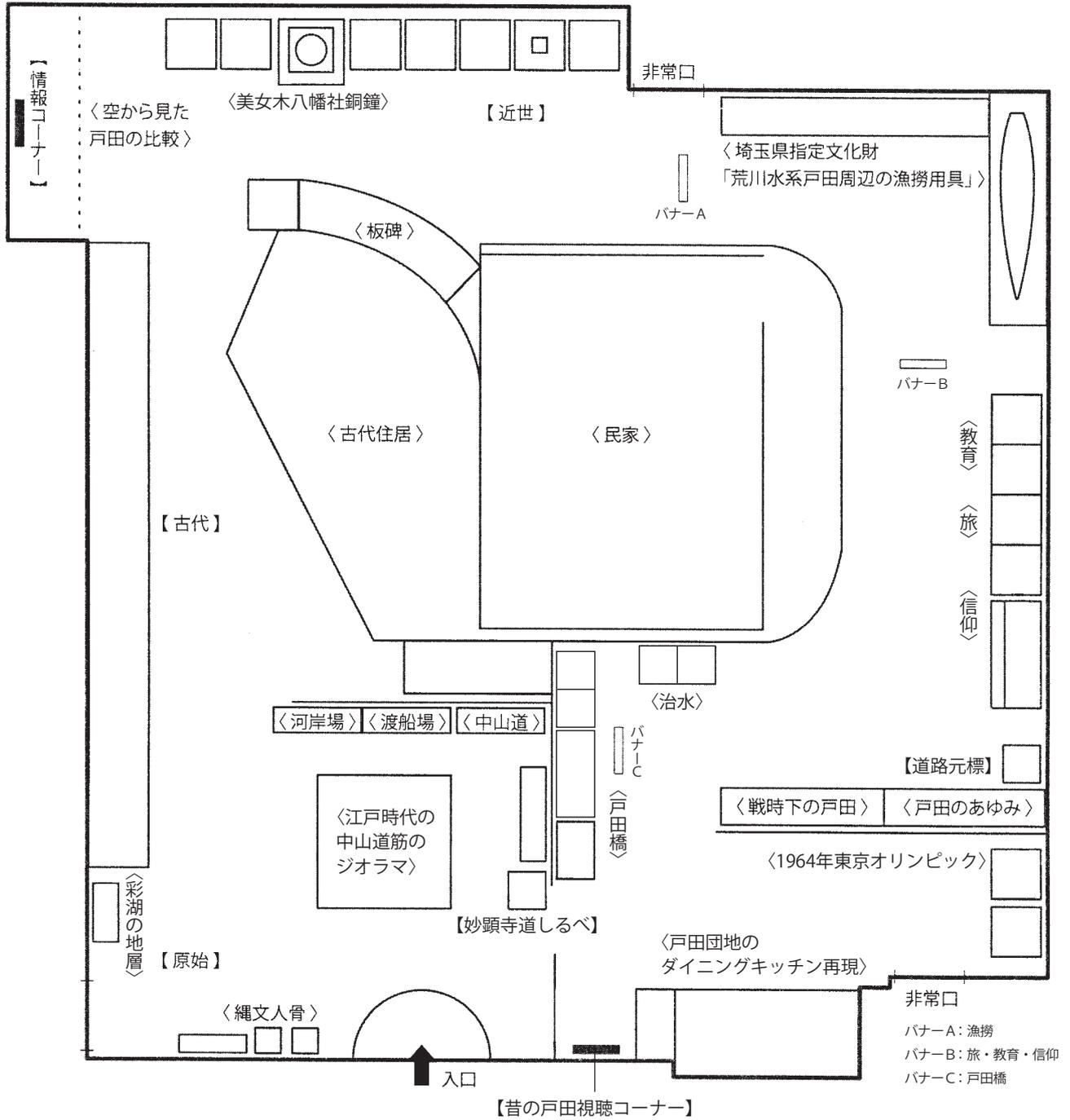


「時代の流れ」に合わせて、館内の展示品が、どの時代のものなのかを確かめてみよう!

時代	日本全国のできごと	教科書に出てくる主な人物	館内の展示品など
日本の成り立ち	縄文 <ul style="list-style-type: none"> ●土器がつくられるようになった。 ●狩りや漁の暮らし ●米づくりが大陸から伝わった。 		  <p>十三善提式土器 人骨化石</p>
	弥生 <ul style="list-style-type: none"> ●邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送った。(239年) 	・卑弥呼	
	古墳 <ul style="list-style-type: none"> ●大和朝廷の国土統一が進む。 ●渡来人が大陸の文化を伝える。 		 <p>古代復元住居</p>
貴族の世の中	飛鳥 <ul style="list-style-type: none"> ●聖徳太子が推古天皇の摂政になった。(593年) ●冠位十二階が制定された。(603年) ●十七条の憲法が制定された。(604年) ●大化の改新(645年) 	・聖徳太子 ・小野妹子 ・中大兄皇子 ・中臣鎌足	
	奈良 <ul style="list-style-type: none"> ●平城京に都が移された。(710年) ●大仏づくりが始まった。(747年) ●大仏が完成した。(752年) 	・聖武天皇 ・行基 ・鑑真	
武士の世の中へ	平安 <ul style="list-style-type: none"> ●平安京に都が移された。(794年) ●遣唐使が廃止された。(894年) ●藤原道長が摂政になった。(1016年) ●源氏が平氏を滅ぼした。(1185年) 	・藤原道長 ・清少納言 ・紫式部 ・平清盛	 <p>前谷遺跡出土高台付皿 (11世紀中葉)</p>
	鎌倉 <ul style="list-style-type: none"> ●源頼朝が征夷大将軍になった。(1192年) ●文永の役(1274年) ●弘安の役(1281年) ●鎌倉幕府が滅びた。(1333年) 	・源頼朝 ・源義経 ・北条時宗	 <p>美女木八幡社の銅鐘</p>
	室町(戦国) <ul style="list-style-type: none"> ●室町幕府の成立(1338年) ●足利義満が征夷大将軍になった。(1368年) ●「応仁の乱」が起こった。(1467年) ●鉄砲が伝わった。(1543年) ●キリスト教が伝わった。(1549年) ●織田信長が室町幕府を滅ぼした。(1573年) 	・足利尊氏 ・足利義満 ・雪舟 ・足利義政 ・ザビエル ・織田信長	 <p>板石塔婆</p>

武士の世の中	安土桃山	<ul style="list-style-type: none"> ●「本能寺の変」が起こった。(1582年) 秀吉が検地を始めた。(1582年) ●秀吉が刀狩令を出した。(1588年) ●秀吉が全国を統一した。(1590年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・明智光秀 ・豊臣秀吉 	
	江戸	<ul style="list-style-type: none"> ●徳川家康が江戸に幕府を開いた。 (1603年) ●豊臣氏が滅亡した。(1615年) ●参勤交代制度が始まった。(1635年) ●鎖国が完成した。(1641年) ●ペリーが浦賀に来た。(1853年) ●日米和親条約を結んだ。(1854年) ●日米修好通商条約を結んだ。 (1858年) ●大政奉還(1867年) (王政復古の号令) 	<ul style="list-style-type: none"> ・徳川家康 ・徳川家光 ・近松門左衛門 ・前野良沢 ・杉田玄白 ・本居宣長 ・伊能忠敬 ・歌川広重 ・ペリー ・吉田松陰 ・坂本竜馬 	 <p>とせんば 渡船場模型</p>  <p>肥船模型</p>  <p>たかばぼうじ 鷹場榜示石</p>
明治から の世の中	明治 大正	<ul style="list-style-type: none"> ●江戸が東京になった。(1868年) ●廃藩置県が行われた。(1871年) ●徴兵令が出された。(1873年) ●地租改正が行われた。(1873年) ●大日本帝国憲法の発布(1889年) ●日清戦争が起こった。(1894年) ●日露戦争が起こった。(1904年) ●第一次世界大戦が起こった。(1914年) ●普通選挙制度が定められた。(1925年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝海舟 ・西郷隆盛 ・大久保利通 ・木戸孝允 ・福沢諭吉 ・板垣退助 ・大隈重信 ・伊藤博文 ・陸奥宗光 ・小村寿太郎 	 <p>ぼう 五榜の掲示</p>  <p>役場の看板</p>
	昭和	<ul style="list-style-type: none"> ●満州事変が起こった。(1931年) ●国際連盟から脱退した。(1933年) ●日中戦争が起こった。(1937年) ●第二次世界大戦が起こった。(1939年) ●太平洋戦争が起こった。(1941年) 		 <p>日の丸寄せ書きと国民服</p>
戦後の 新しい 日本	昭和	<ul style="list-style-type: none"> ●日本国憲法の公布(1946年) ●サンフランシスコ平和条約を結んだ。 (1951年) ●国際連合に加わった。(1956年) ●オリンピック東京大会が開かれた。 (1964年) ●沖縄が日本に復帰した。(1972年) 冬季オリンピック札幌大会が開かれた。 		 <p>聖火ランナーのユニフォームとメダル</p>
	平成	<ul style="list-style-type: none"> ●ソ連が解体した。(1991年) ●阪神・淡路大震災が起こった。 (1995年) ●冬季オリンピック長野大会が開かれた。 (1998年) ●アメリカで同時多発テロが起きる。 (2001年) ●東日本大震災が起こった。(2011年) 		 <p>※常設展示はしていません</p>

常設展示室配置図



【情報コーナー】



【昔の戸田視聴コーナー】

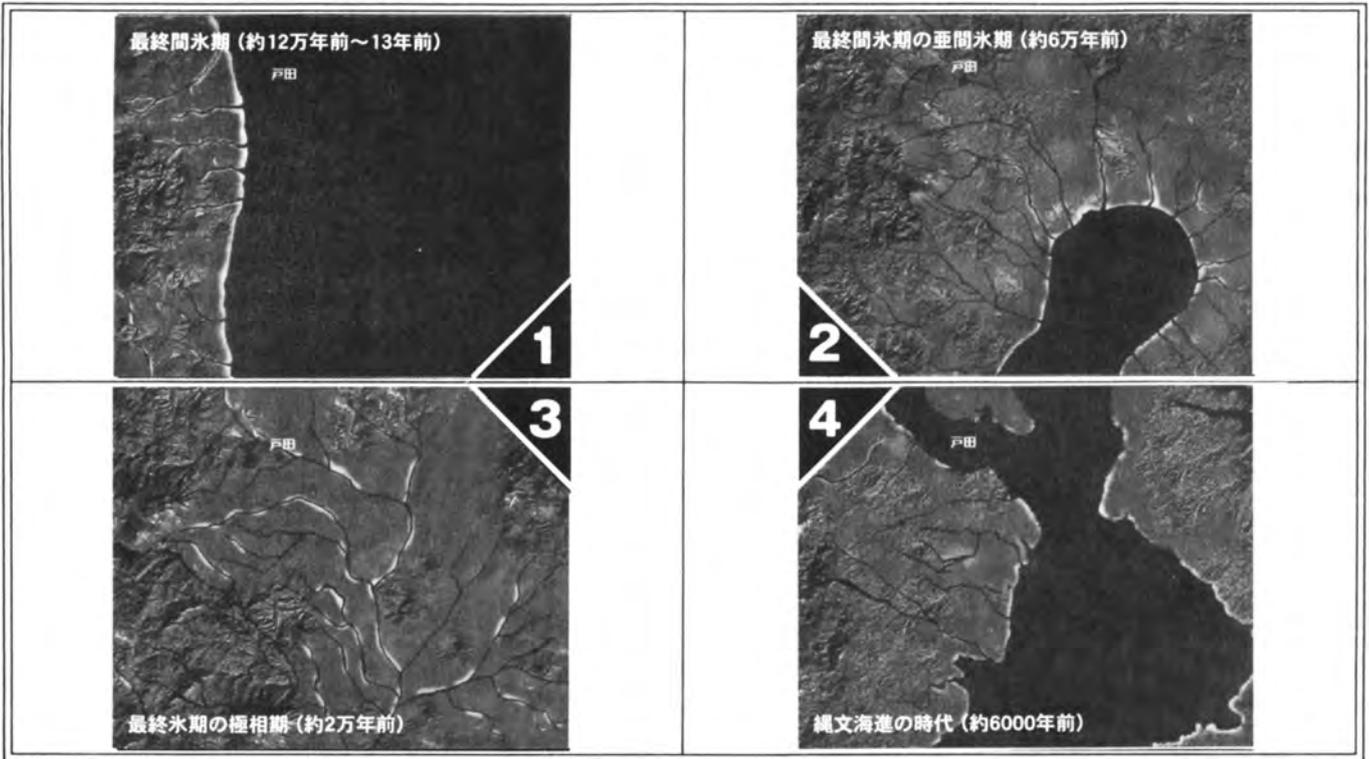


大昔の戸田の様子

大昔の戸田は、どのような地形をしていたのかな？調べてみよう！



◆なるほど郷土博物館



◆クイズコーナー

上の資料を見て、() に入る言葉を下の□から選んで、①～⑧の番号を書きましょう。

- 今から約6000年前の戸田市は() だった。
- 戸田市は低地にあり、() の水が運んできた土が積ってできたものである。
- 関東平野ができたのは、() の第四紀である。
- 昔の土地のようすを知るためには、() を調べるとよい。

- ①山の上 ②海の底 ③しなの信濃川 ④荒川
⑤明治時代 ⑥新生代 ⑦地層 ⑧空気

旧石器時代

世界全体の流れ	戸田市の動き
●500万年ごろ 人類の誕生	●180万年ごろ～ 現在の戸田の辺りは、第四紀の気候変化(氷河期・間氷期)に伴い、海の底になったり、陸地になったりしていました。
●80～50万年前 北京原人・ジャワ原人	ちょうど、6000年前ごろは奥東京湾と呼ばれる海の底でした。
●20～15万年前 ネアンデルタール人(旧人)	
●5万～3万2000年前 <small>のじりこ</small> 野尻湖遺跡(長野県)	
●4万年前ごろ クロマニヨン人(新人)	
●1万8000年前ごろ <small>みなとがわ</small> 港川人(沖縄県)	

◆歴史トリビア

「旧石器時代の人びとの住居は？衣服は？」という、実はよくわかっていません。というのも、日本は世界有数の酸性土壌どじょうのため、土の中では、衣服はおろか骨さえも溶けてなくなってしまうからです。ただ、想像では、住居は動物の皮を用いたテント状のもので、衣服も捕らえた動物の皮の加工品であったと考えられています。

縄文時代、弥生時代と人々のくらしの様子



わたくしは、女王・卑弥呼。縄文時代、弥生時代のころの人々は、一体どのようなくらしをしていたのかしら？調べてみましょう！

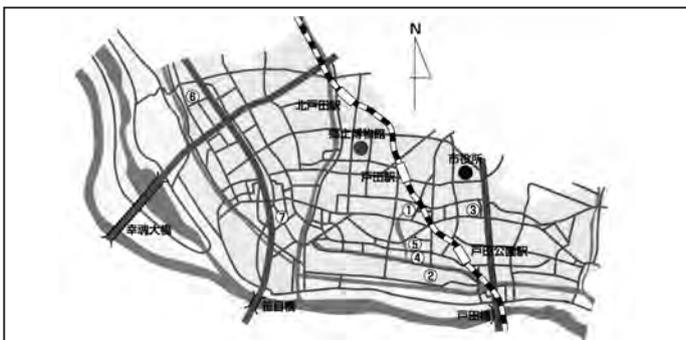
◆なるほど郷土博物館

人骨化石	まがたま 勾玉 くがたま 管玉など	土器	木製品（横おの）
	<p>1 鍛冶谷・新田口遺跡（かじや・しんでんぐち） 2 南原遺跡（みなみはら） 3 前谷遺跡（まえや） 4 南町遺跡（みなみまち） 5 上戸田本村遺跡（かみとだほんむら） 6 美女木八幡社脇遺跡（びじよぎはちまんしゃわき） 7 根木橋遺跡（ねぎのはし）</p>		
ほだい 十三菩提式土器	市内の遺跡分布図		

縄文時代、弥生時代

◆チャレンジコーナー

もし、あなたが「村長」だったなら、戸田市のどこに「村」をつくりますか？下の地図の中に、◎をかいて表しましょう。また、どうしてその場所を選んだのか、その理由も考えましょう。



世界全体の流れ	戸田市の動き
● 5500年前ごろ さんないまるやま 三内丸山遺跡（青森県）	● 6000年前 海が退き始め、戸田の辺りが陸地化した。
● 5000年前ごろ～ メソポタミア文明 エジプト文明 中国文明	● 5000年前 戸田周辺では、狩猟生活が営まれていた。
● 4500年前ごろ～ インダス文明	
● 2400年前ごろ 日本に水稲耕作技術が伝来	● 2300年前ごろ 稲作が始まり、人々の定住生活が始まった。
● 239年 やまたいこく 邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送った。	

◆歴史トリビア

縄文人が、最初に家畜にした動物は、「イヌ」です。約9000年前の遺跡からは、イヌの骨がたくさん発見されています。埋葬されたイヌの骨のようすを見ると、わざわざ石でおおっているものやヒトの遺体とともに埋葬されているものなど、人間ととても親しい関係にあったことがわかります。飼われていた目的は、「番犬」や「猟犬」だったと考えられています。

こふん あすか 古墳時代、飛鳥時代と人々のくらしの様子

古墳時代、飛鳥時代のころの人々は、どのようなくらしをしていたのかな？わたくし聖徳太子が、いろいろと教えてあげましょう。



◆なるほど郷土博物館

古墳時代の住居のようす

この復元家屋はたて穴住居といって、地表面を掘り下げて床面とし、4本の柱で屋根を支える古墳時代の住居の一形態です。縄文時代や弥生時代からつづく住居形態と同じですが、古墳時代の中ごろから壁にはカマドがつくられるようになりました。



◆クイズコーナー

下の文の（ ）に入る言葉を、□の中から選んで、①～⑧の番号を書きましょう。

- この時代の人びとは、（ ）住居でくらししていた。
- 古墳からは、たくさんの（ ）が出土している。
- 古墳にほうむられた力のある人びとを（ ）とよぶ。
- 日本で最も大きな古墳は、大阪府にある（ ）古墳である。

- ①長穴ちゆうけつ ②たて穴 ③はにわ ④ガラス
⑤豪族 ⑥貴族 ⑦大仏 ⑧大仙だいてん (仁徳陵にんとくりよう)

古墳時代、飛鳥時代

日本全国の流れ	戸田市の動き
●593年 聖徳太子が推古天皇の摂政 <small>すいこ せつしやう</small> になった。	●300年ごろ 有力者を中心とした集落が現れ、鍛冶谷・新田口遺跡 <small>かじや しんでんぐち</small> のような方形周溝墓 <small>ほうけいしゆうこうぼ</small> が盛んにつくられた。
●604年 十七条の憲法が制定された。	●500年ごろ 上戸田に集落ができ、カマドを持つ、たて穴住居がつくられた。
●607年 小野妹子を隋 <small>ずい</small> に送る。	●550年ごろ 埴輪 <small>はにわ</small> を持つ古墳 <small>みなみほら</small> (南原遺跡)が、上戸田につくられた。
●645年 大化の改新	
●672年 壬申 <small>じんしん</small> の乱	

◆歴史トリビア

聖徳太子が建てた法隆寺は、現在残っている木造建築物の中では、「世界最古」のものです。ではどうして、木造の建物が雨や風、台風にも負けないで、1400年もの間長持ちしているのでしょうか。それには、いくつかの「秘密」があります。①材料に耐久性のある「ヒノキ」を使っていること ②長さが20cmもある「和クギ」を使っていること ③土台がしっかりとっていて、地震などに対して強いことなどです。

かまくら 鎌倉時代と人々のくらしの様子

ようこそ、鎌倉時代へ。みなさんを鎌倉時代の「武士の世の中」へと、ご案内いたしましょう。



◆なるほど郷土博物館



鎌倉時代のころの佐々目郷（現 戸田市）のようす

鎌倉時代の戸田は、「^{ささめごう}佐々目郷」と呼ばれ、^{つるおかほらまんぐらう}鶴岡八幡宮の社領として栄えていました。

現在でも残っている史料には、^{ねぎのはし}美女木、^{ぬまかげ}禰宜橋、沼影といった当時の地名が見られます。佐々目郷が、荒川下流域の左岸、現在の戸田市西部からさいたま市の南西部に位置していたことが分かります。

◆歴史トリビア

源頼朝と源義経。この二人の兄弟の話は、とても有名です。
 頼朝と義経は力を合わせて、平氏をうち破り、鎌倉幕府の基礎を築きました。
 しかし、義経はその後、兄・頼朝から追われる立場となりました。頼朝と義経の仲が悪くなったのは、なぜでしょうか。
 それは、①戦い方が天才的に上手だった義経を、頼朝がねたんだから。②義経が、頼朝の許可なく朝廷から「^{けびいし}検非違使」という地位を与えられたから、などであると言われています。
 頼朝は、義経が自分の地位をおびやかし、その結果、自分を中心とする源氏一族の^{とうそつ}統率がくずれることを心配したのでしょう。

鎌倉時代

日本全国の流れ	戸田市の動き
● 1192年 源頼朝が征夷大將軍になった。	● 1253年 市内最古の ^{けんちやう} 建長の板碑が立てられた(観音寺)。
● 1274年 文永 ^{えいき} の役	● 1293年 佐々目郷が、鎌倉の鶴岡八幡宮の社領となった。
● 1281年 弘安の役	
● 1333年 鎌倉幕府が滅びた。	

むろまち せんごく
室町時代、戦国時代と人々のくらしの様子

わしは、織田信長じゃ。ここからは、このわしが、みなさんを「きらびやか」な室町時代と「^{げこくじょう}下克上」の戦国時代へと、御招待いたそう。



◆なるほど郷土博物館



いたいしとうば
 板石塔婆

板石塔婆は、「^{いたび}板碑」とも呼ばれ、主に鎌倉時代、室町時代に造られた供養塔の一種です。

材料は^{りよくでいへんがん}緑泥片岩といい、荒川上流の^{ながとろ}長瀨付近や荒川支流の小川町で産出され、平らに割れやすく彫刻しやすい性質をもっています。

優れた技法で造られたものは、美術品としても貴重なものです。県内では約2万基が発見されており、戸田市内では230基以上が確認されています。

◆クイズコーナー

「板碑」について、正しいものを2つ選んで、()に○をつけましょう。

- () 戸田市内で見られた板碑は、主に長瀨や小川町でとれた材料からつくられている。
- () 戸田市内では、360基が発見されている。
- () 板碑には、仏像などが刻まれていて、主に亡くなった人を^{くよう}供養するためにつくられた。
- () 鎌倉時代から江戸時代までの間で、板碑が最も多くつくられたのは、鎌倉時代である。

◆歴史トリビア

足利尊氏が開いた室町幕府。ところで、この「室町」という名前は、どこから付けられたのでしょうか。

室町という名前は、3代将軍・足利義満が住んでいた家「^{ごしょ}花の御所」が、京都の北小路北・室町東にあったことから付けられたのです。ですから、初代足利尊氏から2代目の^{よしあきら}足利義詮までの間は、厳密には「室町幕府」とは言えないのです。ちなみに、義満がくらしていた「花の御所」には、美しくて珍しい花がたくさん咲き乱れていたと言われています。

室町時代、戦国時代

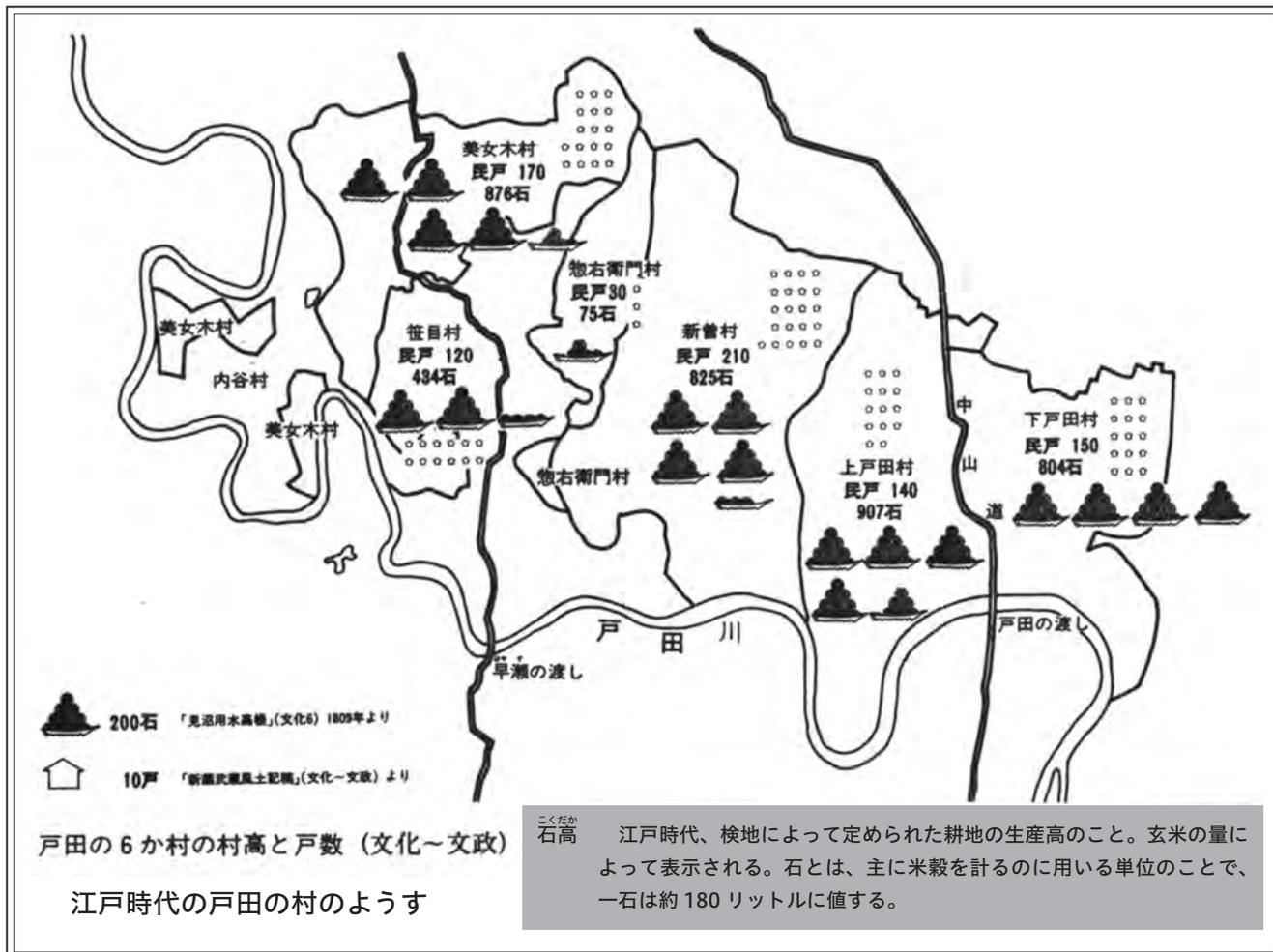
日本全国の流れ	戸田市の動き
●1338年 室町幕府の成立	●1335年 足利尊氏が、鎌倉の鶴岡八幡宮に戸田の土地を寄進した。
●1368年 足利義満が ^{せい} 征夷大將軍になった。	●1382年 上戸田氷川神社が建てられた。
●1467年 「応仁の乱」が起こった。	●1398年 鶴岡八幡宮から、佐々目郷の治安が乱れていることで注意を受けた。
●1543年 鉄砲が伝わった。	●1450年 上戸田に ^{はぐろごんげんしゃ} 羽黒権現社が建てられた。
●1549年 キリスト教が伝わった。	●1562年 争いが起こり、北条氏康によって佐々目郷が焼かれた。
●1573年 織田信長が室町幕府を滅ぼした。	
●1590年 豊臣秀吉が全国を統一する。	

えど 江戸時代と人々のくらしの様子

ようやく「平和な世の中」になったぞ。この時代は、わたくし徳川家康が、御案内いたそう。これから、江戸幕府は300年も続いたぞよ。



◆なるほど郷土博物館



戸田の「昔」と「今」の様子を比べてみよう！



江戸時代、戸田には6つの村がありました。「下戸田村」、「上戸田村」、「新曾村」、「惣右衛門村」、「下笹目村」、「美女木村」です。

村には、名主を長とする「村役人」が置かれ、村をとり仕切っていました。村役人には、村長に当たる「名主」、その補佐役としての「組頭」・「年寄」、農民の代表である「百姓代」がいました。これらを「村方三役」と言います。これらの村役人は、税金としての年貢を集めたり、村の治安の維持などを行ったりしていました。



しゅううん たかぼ
荒川の舟運の様子や鷹場についても、調べてみよう！



肥船模型

荒川の舟運のようす

江戸時代は、「人馬は街道 荷物は水路」と言われ、大量の荷物を安い運賃で運べることから、「舟運」が全国的に発達し、高瀬船などの荷船が行き来していました。初めは年貢米などが輸送の中心でしたが、商品荷物の輸送が多くなると、各河川には荷物を積み降ろしする「河岸場」が設けられるようになりました。荒川沿いの村々からは、江戸でくらす人びとの食料となる米・麦・雑穀・野菜・醤油や燃料の薪・木炭などが積み出され、江戸からは織物の原料や肥料などが運ばれてきました。

戸田には、「戸田」・「早瀬」・「道満」の3カ所に河岸場があり、中でも戸田河岸場は中山道との交差点に当たるため取り扱う量が多く、荒川を代表する大きな河岸場でした。



けいさいえいせん
溪斎英泉画『戸田川渡場』

戸田渡船場は、中山道と荒川の交差点にあり、商用や公用で行き来する旅人などでにぎわいをみせていました。

戸田渡船場には、46戸の家があり、船役人・水夫・小揚人足として渡しの仕事を行ったり、旅人相手の店などを開いたりしていました。

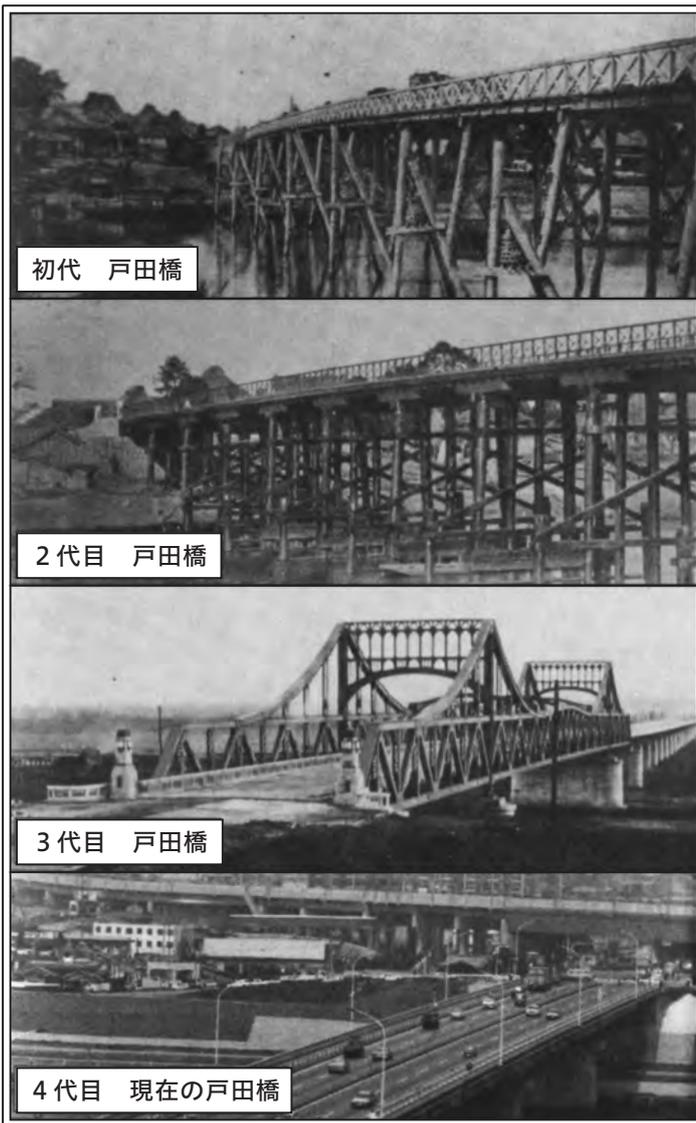
また、渡船場は、中山道を通りすぎる大名や公家たちも利用していました。大名や公家が通行するときは、ふだんとは違い、大勢の人びとが仕事にかり出されて、多くの負担をしいられました。

めいじ たいしょう
明治時代、大正時代と人々のくらしの様子

いよいよ、新しい日本の夜明けだぞ。この時代は、わたくし板垣退助が、御案内いたそう。日本が大きく変わっていくぞ！びっくりするぞ！！



◆なるほど郷土博物館



初めて荒川に橋がかけられたのは、明治8年（1875年）のことです。中山道の交通量の増加に伴い、橋をかけることになり、埼玉県側と東京都側の話し合いが行われ、明治7年（1874年）12月の着工となりました。橋の名前は、「戸田渡船場」の呼び名から取って、「戸田橋」となりました。

現在の戸田橋は、昭和53年（1978年）に完成した4代目の橋になります。

明治時代、大正時代

日本全国の流れ	戸田市の動き
●1868年 江戸が東京になった。	●1871年 埼玉県になった。
●1871年 廃藩置県が行われた。	●1873年 戸田に美女木学校と新曾学校ができた。
●1872年 学制が公布された。	●1875年 初代の戸田橋（木橋）が完成した。
●1873年 徴兵令が出された。 地租改正が行われた。	●1889年 市制・町村制により、新曾村、上戸田村、下戸田村が合併して戸田村になった。
●1877年 西南戦争が起こった。	●1896年 荒川増水で大きな被害を受けた。
●1880年 「国会開設の意見書」	●1907年 荒川大洪水で大きな被害を受けた。
●1889年 大日本帝国憲法の発布 市制・町村制が施行された。	●1910年 戸田尋常小学校が開校した。
●1890年 第一回帝国議会の開催	●1913年 戸田村に電灯ができた。
●1894年 日清戦争が起こった。 イギリスとの条約を改正した。	●1922年 天皇が荒川の戸田堤防を馬で遠乗りをされた。
●1904年 日露戦争が起こった。	
●1911年 条約改正が終わった。	
●1914年 第一次世界大戦が起こった。	
●1920年 国際連盟に加盟した。	
●1923年 関東大震災がおこる。	
●1925年 普通選挙制度が定められた。	



▲戸田市役所



戸田町役場の全景▶

今の戸田市役所と比べてみよう!



役場の看板

明治22年(1889年)に公布された市制・町村制をきっかけとして、全国的に町村の合併が進められました。戸田の村々においても、江戸時代の6つの村が3つの村になりました。上戸田村・下戸田村・新曽村が合併して「戸田村」に、下笹目村・惣右衛門村が合併して「笹目村」に、美女木村は曲本村(現さいたま市)・内谷村(同)・松本新田(同)と合併して「美谷本村」になりました。

その後、昭和16年(1941年)に、戸田村は「戸田町」となり、昭和18年(1943年)に美谷本村と笹目村が合併して「美笹村」ができました。そして、昭和32年(1957年)に、戸田町と美笹村が合併して「戸田町」となり、昭和41年(1966年)には「戸田市」となって、県内24番目の市として出発しました。



「五榜の掲示」の木札

明治政府は明治元年(1868年)に、新しい政府の方針を示した「五箇条の御誓文」を發しました。また、その翌日一般庶民に対して「五榜の掲示」を示しました。

これは、江戸幕府の政策をまねしたもので、キリスト教が禁じられたりしていました。

写真は、美女木村に残されていた「五榜の掲示」の木札です。

◆クイズコーナー

明治時代、大正時代の戸田の様子について、下の問題に答えましょう。

- ①荒川に初めて橋がかけられたのは、明治何年? [明治 年]
- ②戸田橋の通行料が無料になったのは、明治何年? [明治 年]
- ③現在の戸田橋がつくられたのは、昭和何年? [昭和 年]
- ④一番早く戸田にできた学校は、明治何年? [明治 年]
- ⑤上戸田村と下戸田村と新曽村が合併して「戸田村」ができたのは、明治何年? [明治 年]

◆歴史トリビア

明治23年(1890年)、日本初の国政選挙が行われました。その時の選挙の仕組みは、今の選挙とはかなり異なったものでした。そのため、各地でいろいろな「事件」が起きました。

たとえば、こんな事件です。当時の選挙では、「立候補制度」がなかったため、誰に投票してもよかったのです。ですから、立候補もしていないのに落選した人が出るという事態が発生してしまいました。埼玉県出身の渋沢栄一は立候補もしていないのに、勝手に94票も投票され、その結果落選してしまいました。また、これを見た福沢諭吉は「自分に投票しないように」という広告を新聞に出したほどでした。現在の選挙からは、考えられないような事件ですね。

しょうわ
昭和時代と人々のくらしの様子（1）



この時代の人々は、どんなくらしをしていたのかな？
調べてみよう！

◆なるほど郷土博物館



日の丸寄せ書きと国民服

「国民服」は、戦時下において男性の日常服として着られていたものです。色は「国防色」と呼ばれるカーキ色（かれくさいろ 枯草色）でした。戦場では目立たないようにすることが大切でしたから、このような色になったと言われています。その他にも、戦場に向かう兵隊さんたちには、「防毒マスク」や「ゲートル」が配られました。ゲートルとは、足を守るために巻く帯状の布のことで、戦場では応急処置の包帯や骨折した手足をしぼる布の代わりなどに使われていました。



配給切符・衣料切符

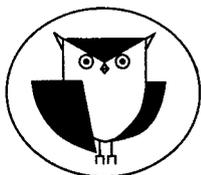
戦争が始まると、人びとのくらしはだんだんと苦しくなっていました。食料や衣服、燃料など生活に欠かせない品物も自由に手に入れることができなくなり、人びとは政府から配られる「配給切符」を持って、決められた時間に行列をつくって配給を受けるようになりました。



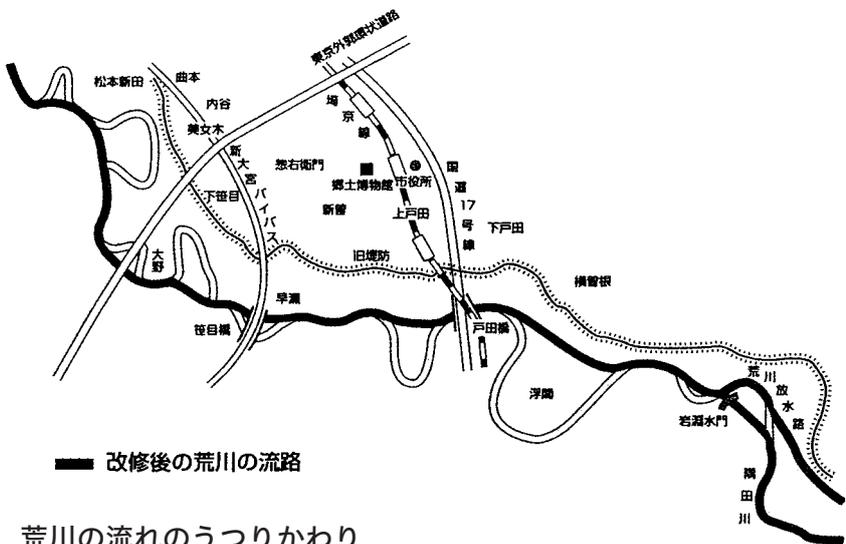
千人針

「千人針」は、戦争に行った人が無事に帰ってくることを祈って、多数の女性によって作られました。日中戦争の開始とともに全国的に広まったものです。戦地の兵隊さんたちは、これを弾たまよけのお守りとしてお腹に巻いたり、帽子にぬいつけたりしていました。

この腹巻には、虎が描かれています。「虎は千里往かえって千里還る」とも言われており、戦場に往った人が無事に帰ることを願って虎の絵が使われていました。



かいしゅう
荒川の改修工事は、戦争中も行われていたんだよ！



改修後の荒川の流路
 荒川の流れのうっぴりかわり

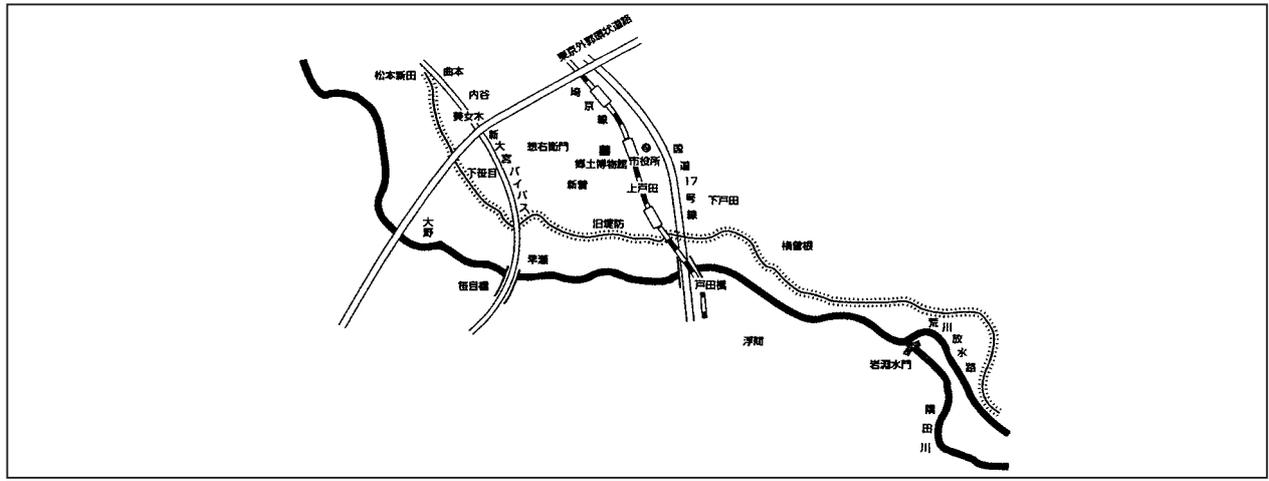
戸田の西から南側を流れる荒川は、文字どおり「荒れる川」でした。いったん大雨が降ると増水し、そのまま降り続けると洪水になって、川沿いに住む人々の生活に大きな被害をもたらしました。

そのため、戸田の民家では、洪水に備えて「水害避難船」を軒下につるしている家もありました。

一方、大正から昭和初期にかけては河川改修が行われました。改修工事は、蛇行する河道を直線化し、河川敷を大きくして川幅を広げ、新しく堤防を築くなど、当時の最新技術を駆使して工事が行われました。この時の改修工事は、昭和29年に完了しました。

◆チャレンジコーナー

もし、あなたが、荒川の改修工事を行うとしたら、荒川の流れをどのように変えますか？下の地図に、あなたが改修工事を行った荒川の流れを、赤でかきこみましょう。



◆歴史トリビア

昭和16年（1941年）12月8日の日本軍による「真珠湾攻撃」と言えば、「リメンバー・パールハーバー」という言葉があまりにも有名です。アメリカ軍は、この攻撃で戦艦8隻、航空機200機以上の損害を受けたと言われています。そして、日本軍のこの攻撃が宣戦布告前の「奇襲」であったため、現代に至るまで「日本人はずるい」という悪評を受けることになってしまったのです。

ところが、当時の日本政府には宣戦布告なしの奇襲をしかけるつもりは、まったくありませんでした。

日本政府は、戦争をしかける前に、きちんと宣戦布告を行うつもりだったのです。それが、結果として「奇襲」となってしまったのは、当時、日米交渉を担当していたワシントン日本大使館の失態が原因なのです。何と、日本の外務省からアメリカに渡さなければならない宣戦布告の文書が大使館に届いたとき、大使館にはだれもいなかったのです。そのため、アメリカ側に対する宣戦布告が間に合わず、日本軍の攻撃が開始されてしまったというわけなのです。

しょうわ
昭和時代と人々のくらしの様子（2）



戦争が終わって、日本はどのようにして、今のような豊かな国になったのかな？調べてみよう！

◆なるほど郷土博物館



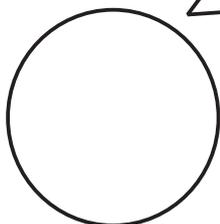
せいか
聖火ランナーのユニフォームとメダル

◆チャレンジコーナー



この写真は、昭和41年（1966年）に行われた戸田市誕生の記念式典の様子です。

もし、あなたが、この記念式典の場にいたら、どんなことを感じたり考えたりしますか？



自分の似顔絵

.....

.....

.....

.....

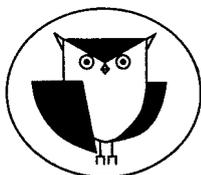
.....

.....

昭和時代

日本全国の流れ	戸田市の動き
●1931年 満州事変が起こった。	●1929年 戸田橋（鉄橋）が完成した。
●1933年 国際連盟から脱退した。	●1940年 戸田ボートコースが完成した。
●1937年 日中戦争が起こった。	●1941年 戸田町になった。
●1939年 第二次世界大戦が起こった。	●1951年 戸田橋の花火大会が始まった。
●1941年 太平洋戦争が起こった。	●1964年 東京オリンピックのボート競技が戸田のボートコースで行われた。
●1946年 日本国憲法の公布	●1966年 市制が施行されて、戸田市になった。
●1951年 サンフランシスコ平和条約を結んだ。	
●1956年 国際連合に加わった。	

郷土博物館 ウルトラクイズ



博物館をグルッと一回りしてきたあなたは、もう立派な「歴史博士」ですね。歴史の学習は、どうでしたか？楽しかったですか？

では、最後に「郷土博物館 ウルトラクイズ」にチャレンジしてみましょ。むずかしいですよ。全部答えることができるかな？さあ、がんばって!!!

①	戸田市内にある鍛冶谷・新田口遺跡からは、昔の人のお墓がおよそいくつ発見されているでしょう？ 答え（およそ 基）
②	戸田市内にある南原古墳は、およそ何世紀につくられたものでしょう？ 答え（およそ 世紀）
③	鎌倉時代のころの戸田は、何と呼ばれていたでしょう？（ヒント：漢字4つです。） 答え（ ）
④	鎌倉時代、室町時代につくられた板碑。材料は何という石でしょう？ 答え（ ）
⑤	江戸時代の戸田には、何カ所の「 ^{かしぼ} 河岸場」があったでしょう？ 答え（ 箇所）
⑥	戸田の舟運で活やくした「高瀬船」とは、何を運んだ船でしょう？ 答え（ ）
⑦	戸田橋は、これまで何回か作りかえられてきました。では、現在の戸田橋は、何代目になるでしょう？ 答え（ 代目）
⑧	昭和22年に「美笹中学校」と同時に開校した中学校は、何中学校でしょう？ 答え（ 中学校）
⑨	戸田市が誕生したのは、昭和何年のことでしょう？ 答え（昭和 年）
⑩	郷土博物館の正面玄関左側で、館内に入ってくる人たちを「ジューツ」と見つめている鳥の種類は、何でしょう？ 答え（ ）

気をつけて帰ってね。バイバイ、また来てね……!!!
※答えはホームページを見てね

